研究計画書発表：

　はい、では、これから研究計画書を発表させて頂きます。

私の研究テーマは、「受け手がインターネットメディア広告に及ぼす影響――YouTuberを中心に考察する―」ということです。

　まずは研究背景から説明させて頂きます。

　近年ではインターネットの目覚ましい進歩により、人々のインターネット利用時間が増えています。それとともに、インターネット広告の急速な発展が見られ、2019年電通の調査データによると、インターネット広告費は初めて第一位になりました。そして、世界最大の動画サービスとして、YouTubeは多くの広告主に利用されています。その中、一般的な広告とは異なり、YouTuberは様々な個性的な手法を使って、プロモーション広告を作成し活躍しています。

一方、誰でもYouTubeで情報発信ができるため、優秀なYouTuber動画広告が大量的な好評を受け、話題になることに対し、広告費をもらうために商品の良悪を構わず、不実、悪質な広告を配信する YouTuberは低評価をもたらし、チャンネル登録数を減少することもあります。YouTuberと受け手との関係が深まりつつある現在では、多くのYouTuber は視聴者との信頼関係を壊さないため、広告動画の配信が慎重になっています。

そこで、双方向のコミュニケーションが取りやすくなっているインターネット時代に、受け手が送り手であるYouTuberにどんな影響を及ぼしているのか研究したいと思います。その上で、受け手の変化はインターネット広告の考え方にどのような影響を与えるのかについて明らかにしたいと考えています。

それに従って、本研究は三つの仮説を挙げました。

1.受け手が受け取る情報の爆発的増大であり、広告の内容を無理に押しつける効果が減少するのに対し、受け手は広告のクリエイティブとコンテンツの向上を要求します。

2.受け手のメディア・リテラシーの向上に伴い、YouTuberの広告の考え方には、広告の信頼度がさらに強調されるようになります。

3.受け手のコメントはYouTuberの広告の配信内容と手法に大きな影響を及ぼします。

以上の仮説を検証するために、アンケート調査とインタビュー調査を行う予定します。

以上です。ご清聴ありがとうございました。